

## 「食道癌術後患者に対する運動・栄養療法が身体機能や栄養状態に及ぼす効果の検証-自宅退院後の運動療法及び栄養療法の継続による効果-」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検査結果を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2023年3月1日から2024年12月31日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター】を受診し、当院で食道癌に対し根治的な開胸開腹術を予定する患者さんを研究対象とします。

#### 2. 研究の目的

当院で食道癌に対し手術を行った患者さんの退院後の身体機能と栄養状態の経過とを見るのが研究の目的です。上記のような患者さんは自宅退院後に体力や体重低下が残る傾向があります。今回の研究では入院中の治療が終わり自宅退院後も、運動療法と栄養療法を3ヶ月継続してもらい、その間の筋力や体力などの身体機能と体重や体組成など栄養状態がどのような経過を示すかを検査します。また、本研究での運動療法と栄養療法のプログラムがどの程度の継続が可能か、実施・継続における問題ないかなど、継続性と安全性の検証する研究を行います。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年6月30日

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

今回の研究では入院中から外来時に実施する筋力や体力測定など身体機能検査や、体重や身体組成など栄養状態を表す検査などを情報として用います。また、治療歴や手術や採血などの治療に係る情報や自宅での運動実施や栄養補助食品の摂取状況も研究で使用させていただきます。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である高木敏之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

身体機能や栄養状態をす検査情報は患者さんに検査に参加して頂き検査値を取得します。治療歴や手術、血液検査結果はカルテから情報収集し、自宅での運動実施や栄養補助食品の摂取状況

に関しては患者さんに記してもらって運動日誌から情報取得します。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・ 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター 高木敏之（研究代表者）

### 4. 試料・情報の管理責任者

< 提供元機関 > 【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯 俊昭

#### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター （高木敏之）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4367（日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：

**食道癌術後患者に対する運動・栄養療法が身体機能や栄養状態に及ぼす効果の検証  
-自宅退院後の運動療法及び栄養療法の継続による効果-**

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター 高木敏之